

2025 年度宮崎県災害支援ナース派遣調整図上演習〈訓練〉 実施報告

1. 目的

- 宮崎県内で自然災害が発生した場合を想定し、県行政と県看護協会、災害支援ナース派遣協定締結施設（以下、協定締結施設）・災害支援ナースとの連絡が迅速かつ正確に行われ、災害支援ナースの派遣調整が円滑に行われるよう図上演習を実施する。
- 図上演習により、県内派遣における今後の課題を明確にし、災害支援ナース派遣の体制整備に活かす。

2. 実施概要

- 実施日 2025 年 10 月 28 日（火）～30 日（木）

- 対象

宮崎県医療政策課

災害支援ナース派遣協定締結施設（45 施設）・災害支援ナース（166 名）

宮崎県看護協会

- 訓練経過および結果

県・看護協会・協定締結施設間における災害支援ナース派遣決定までの連絡調整（メール）

日 時	発信→受信	内 容
10/28	10:00	県→看護協会 都城市豪雨災害対応のための県保健医療福祉調整本部および都城市に地域保健医療福祉調整本部を設置し、災害支援ナースの派遣を検討中。
	10:05	宮崎県看護協会災害対策本部を設置し、 <u>第 1 回本部会議</u> において対応を検討。
	10:16	看護協会→協定施設 協定締結施設（45 施設）への災害支援ナース準備依頼を発信
	10:30	県→看護協会 県が、災害支援ナースの派遣を決定（10/31～13 日間）
	10:40	<u>第 2 回本部会議</u> において災害支援ナース派遣調整を開始することを決定
	10:46	看護協会→協定施設 支援ナース派遣候補者リスト（様式第 2 号）の提出依頼を発信（提出期限 10/29 10:30）
10/29		協定施設→看護協会 派遣候補者リストを随時受信し、途中経過を <u>第 3 回本部会議</u> で共有
	9:30	県→看護協会 活動場所を決定し、3 か所（特養じょうじょう館、避難所 A、避難所 B）に各場所 2 人/日を派遣
	9:35	<u>第 4 回本部会議</u> ・現時点の派遣候補者リスト（29 施設 82 名）のデータ整理を行い、シフト作成の準備開始 ・協会から貸与できる物品の確認
	10:30	県→看護協会 協定施設→看護協会 活動場所の詳細情報（様式第 4 号-2）を受領 候補者リスト 85 名（32 施設）を受領
		活動場所別の支援ナース派遣シフト表（案）作成（様式第 3 号）24 名の案（2 名×4 クール×3 か所）でシフト作成
	13:10	<u>第 5 回本部会議</u> ・支援ナース派遣シフトの決定（様式第 3 号） ・19 施設 24 名の支援ナース派遣決定通知（様式第 4 号）の作成開始
	13:27	看護協会→県 支援ナース派遣シフト表（様式第 3 号）の提出
	14:31	看護協会→ 派遣決定協定施設 支援ナース派遣決定通知（様式第 4 号）および活動場所情報（様式第 4 号-2）を 19 施設に送信を完了

日 時	発信→受信	内 容
10/29 15:55	県→ 派遣決定協定施設	派遣決定施設に支援ナース派遣要請書（様式第 1 号）の送信を完了
10/30 10:00		<u>第 6 回本部会議</u> ・ 派遣決定施設の支援ナース派遣決定通知（様式第 4 号）および活動場所情報（様式第 4 号-2）の受信状況を共有
10:30	看護協会→ 協定施設・県	45 施設に「宮崎県災害支援ナース派遣決定・報告」を発信し訓練終了を伝達



宮崎県看護協会災害対策本部会議の様子

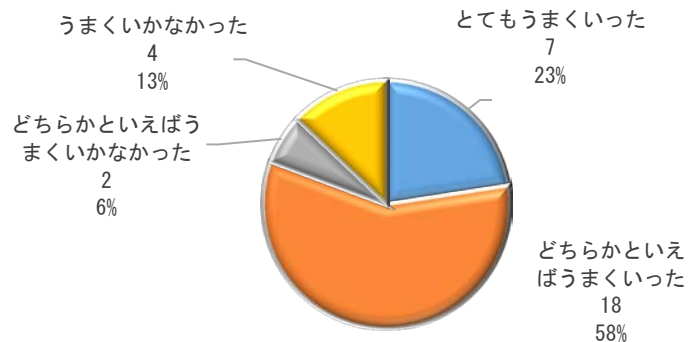
3. 訓練の評価

1) 災害支援ナース派遣協定施設

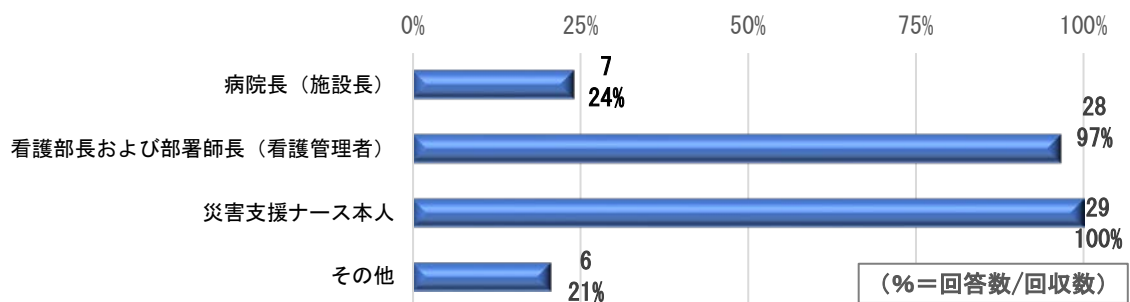
(1) アンケート結果

- ① 対象：事前の訓練参加意向調査で「参加する」と回答のあった 40 施設
- ② 回答数：29（回収率 73%）
- ③ 結果

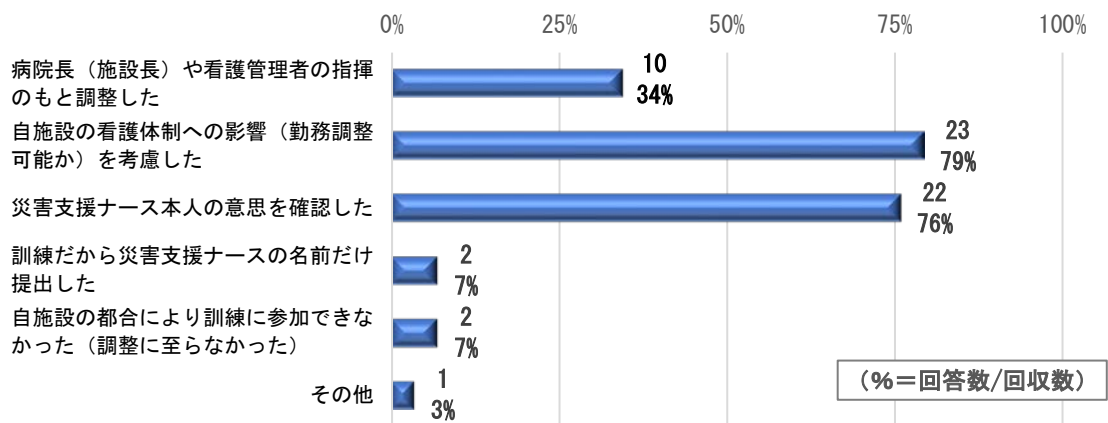
■ 訓練の連絡調整（自施設内外含む）について



■ 訓練において連絡をとった関係者（訓練実施の情報通知・共有含む） 複数回答

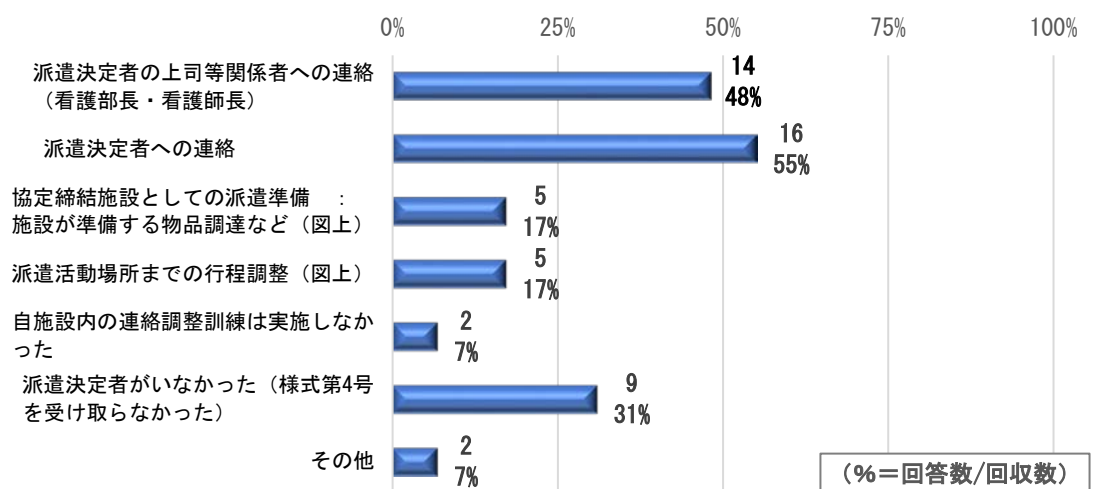


■ 災害支援ナース候補者リスト作成のための調整について 複数回答



■ 支援ナース派遣決定通知（様式第4号）受講後の、自施設内における連絡調整訓練の内容

複数回答



■ 今回の訓練に関する自由記載

- ・派遣するにあたって派遣の準備・支援として、何が必要で何の支援を行うかを検討しておくことが必要であると思った。それを支援ナースと共有しておく必要がある。
- ・今まで、個人での調整に任せていたので、非常に戸惑った。今回の訓練では休みで行くのか公務なのか、行くまでの費用はどうなるのか、準備するものは個人になっているが準備はあるのかなど、院内での災害ナースの立ち位置や、本人たちの意思確認、派遣の実施要項の確認、協定書の確認に追われ、訓練参加には至らなかった。調整役は誰がするのか、持っていくものの準備がないこともわかり、院長や事務長を巻き込み会議を開き、今後災害時にどう動くのかを確認する機会となった。
- ・候補者の名簿作成に、修了証番号や携帯電話、メールアドレスの記載が必要であることがわかり、いざというときに本人が勤務していない状況では確認をとるのに時間がかかる。今回の訓練を期に、支援ナース登録者の情報管理を行うこととした。DMAT 隊員については、EMIS 上に隊員情報があるため拾いやすいが、災害支援ナースについても EMIS 上で確認できるのか知りたい。
- ・院内での連絡体制について、看護部内だけで調整を行っていた。災害マニュアルでは、災害対策本部を立ち上げなければならない状況のはずができていない。今後は、災害マニュアルともあわせて訓練に参加することを検討したいと思う。
- ・派遣時は、派遣スタッフの所属する部署の運営が不安定になることが予測された。それを最小限にするために、管理者として、災害支援ナースの活動について、事前に病院長・事務局の理解を得ておく必要があると感じた。

- ・院内での共有が不足していたことが当院での反省点である。必要な書類や、情報について事前にお知らせいただき、訓練にて実施することで、部署間での共有方法のイメージができたのでよかった。
- ・設問 4 にあるような、物品準備や活動場所までの移動手段の検討までは行わなかった。訓練だからこそ、この機会に派遣準備等を院内で行うべきであったと反省している。看護部だけで今回訓練に参加したが、院内を巻き込んで行うべきであった。
- ・自分自身が初めての訓練で、看護部長を初め、災害支援ナースの看護師長等の意見を聞きながら調整を行った。4 日間の派遣でも、前後 1 日の勤務調整も必要であることや、出張であるため、代休の確保、夜勤になっている場合の調整など実際に調整してみないと分からないことが見えて、今後の準備や調整に役立った。DMAT と重なっている災害支援ナースもあり、実際の調整はもっと難しいと感じた。災害支援ナースの養成に力を入れ、増やしていきたい。
- ・今後に変役立った。ありがとうございました。
- ・看護部共有の PC にアドレスを設定しているため、気づくのが遅れた。訓練なので確認したが、そうでなければ気づかない可能性もあった。アドレスの変更を検討したい。災害支援ナースが勤務でない場合の連絡体制が十分でなかった。専用の連絡ツールを検討する。
- ・はじめての試みでしたが、丁寧にご案内いただいたため予定されていたスケジュールどおり進めることができた。この訓練によって、当院の災害支援ナースへの派遣伝達や情報共有の仕組みの整備、物品準備など支援体制の不備が浮き彫りになった。実践的なマニュアルの作成、支援体制の整備に着手をしていく。ありがとうございました。
- ・自施設では、全員の修了証番号の把握に不備があったことと、災害支援ナースが事前に送信されたメールを十分把握していなかったことが反省点だった。災害支援に必要な物品等の見直しや準備ができ、良い機会になったと思う。
- ・災害支援ナース派遣要請が当該施設の誰に届くのか等、理解していないことがあり、院内の課題も出てきて良かった。
- ・院内での連絡体制の見直しをする機会となり良かった。災害支援ナースに派遣先情報が事前に知らせる事ができ準備や心構えができると感じた。
- ・自施設内において、訓練内容が連絡調整までになっており、派遣準備や行程調整まで行う必要があったと思う。
- ・派遣までの時間的余裕が少ない状況が訓練を通して想定できた。2 週間派遣については上司の許可を得ることが難しかった。
- ・協定施設スケジュールの㊤様式第 1 号はメールでの送信だと思うのですが、今回の訓練では通知されなかったのか。メールを確認しましたが、見つかりませんでした。
- ・今回は訓練とわかっていたが、通常業務を行いながら実際の災害時にメールに気づけるのか不安になった。派遣グループ 2 班だったからか県からの様式 1 号は届かなかったがそれではなかったのか分かりませんでした。
- ・登録されている災害支援ナースは常勤職員であり、夜勤も行っているため、夜勤を含んだ勤務調整が難しかったです。また、いざ派遣となった時の持参品の準備が整っていないため、早急に準備が必要と感じました。
- ・実際に派遣となると、勤務調整が困難だと感じました。
- ・2 号様式に、携帯番号とメールアドレス記入欄があるが、支援ナースとして登録してあることで、不要ではないか。登録してある電話番号やアドレスとの照合まではできなかった。修了証番号で、看護協会のほうで一致すれば、2 号様式への記入は不要ではないか。少しでも早く情報共有するためにも、外していただきたい。
- ・様式第 2 号がなかなか開けなかったため、自施設でも確認し直せた。
- ・メールのパスワードが緊急時には時間ロスに繋がるのではないか
- ・会議や所用をしていて、メール確認が遅れました。

2) 県協会

■ 災害対策本部について

- ・県からの災害情報から本部を立ち上げた。派遣調整の進捗においては、本部会議やクロノロジにより協会内で共有できた。

【情報班】

- ・これまでの災害時も、クロノロに似た形のものを作成していたので思ったより戸惑いは少なかったが、情報を聞きながら記載することを改めて難しいと感じた。
- ・今回、ホームページへの掲載は無かったが、掲載をするとしたら、どのような情報を記載していくのかの検討が必要だと思った。ホームページに掲載することで、協定施設が看護協会の動きを知ることができるのではないかと思う。掲載の際は、これまでも掲載しているとおり、決まった様式を PDF データで掲載していくのが良いのではないか。
- ・各班での情報共有の仕方について、本部会議に入っている方からの口頭だけでなく、自身でもクロノロを確認しておくとう良かったということを反省した。
- ・実際の時に、本部会議に不特定多数の参加が難しいということであれば、情報班が協会内の情報共有として各部署へ現時点の情報（クロノロ）を出せるようにすると良いのではないかと思った。
- ・今回の訓練では、情報班としての任務（情報を収集及び発出）という事に関しては訓練ができていないため、今後、様式やホームページの体裁などを含め対応できると良い。

【派遣調整班】

- ・協定締結施設から届いた様式第 2 号の整理の際に、ダブルチェックをしながらの作業が必要だった。
- ・32 施設 85 名の派遣候補者が挙がってきたことで、支援活動経験者を早期派遣者としてシフトに組み入れることができた。
- ・様式第 3 号・第 4 号の名簿の突合確認と送信時に、ダブルチェックをして誤送信をしないようにできた。

【業務調整班】

- ・研修の継続・中止・延期等の調整の目安が必要である（本会の BCP の策定）。
- ・発災時の来協者への対応についても、標準化していく必要がある。

【総務管理班】

- ・業務調整班と協力して、災害支援ナース貸し出し用品等の確認ができた。物品の状態確認も含めて行ったので、時間がかかるものだと感じた。
- ・訓練時の物品整理については、班を超えた職員が参加し、誰でも対応できるようにしていく必要がある。

■ 災害支援ナース派遣マニュアル（暫定版）に関して

- ・派遣決定までの今回の訓練内容については、マニュアルに準じて実施できた。
- ・今回の訓練も踏まえ、マニュアル内の調整中の部分や、費用の支弁に関することの追記等、県と協議して見直していく。

3) 県

- ・訓練は、特に問題なく対応できた。
- ・現在のところ、看護協会からの支援ナース派遣決定通知（様式第 4 号）の送信のタイミングで仮の派遣要請書を県から協定締結医療機関へ送ることになっている。しかし、実務上、煩雑になることから、下記のような運用に変更したい→様式第 1 号を見直す。
「支援ナース派遣決定通知（様式第 4 号）」をもって、県からの要請とする。派遣終了後に、正式に「支援ナース派遣要請書（様式第 1 号）」を送付する。
- ・訓練を機に、協定締結施設の連絡先変更の希望があったので、年度内に連絡先リストを更新する。一部の派遣決定協定施設が様式 1 を受信できなかったことも踏まえ、対応していく。